

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門基礎	解剖生理学Ⅰ	1単位30時間	1年	非常勤講師
専門基礎	解剖生理学Ⅱ	1単位30時間		
専門基礎	解剖生理学Ⅲ	1単位30時間		
専門基礎	解剖生理学Ⅳ	1単位30時間		

授業のねらい

人体の解剖学と生理学は生化学と並んで医学の基礎的学問である。人体を構築する器官、組織のしくみを解剖学で学び、これらの連携と調和がもたらす生命現象のしくみを生理学で把握することが本講義の目的である。病態とは正常な状態から逸脱した現象であり、正常状態を知らずして病態を語ることは不可能である。従って、本講義では正常な人体の構造およびその働きの追求を基本とし、病態への変化を理解することを目標とする。

授業計画

本講義を4つのパートに分ける。

解剖生理学Ⅰ

序論

第1章 解剖生理学の基礎知識

第7章 体の支持と運動

解剖生理学Ⅱ

第3章 呼吸と血液の働き

第4章 血液の循環とその調節

解剖生理学Ⅲ

第2章 栄養の消化と吸収

第5章 体液の調節と尿の生成

第10章 生殖・発生と老化

解剖生理学Ⅳ

第6章 内臓機能の調節

第8章 情報の受容と処理

第9章 外部環境からの防御

* 各パートの終了後、過去5年間の該当パートの国家試験問題を解説する

授業方法 講義

教科書 系統看護学講座「解剖生理学」 医学書院

評価方法 各パート毎の筆記試験とスケッチ、小テスト、レポートの総合評価

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門基礎	生化学	1単位30時間	1年前期	非常勤講師

授業のねらい

生命体は種々の生体物質によって有機的に構築されており、生命活動はそれらの物質が細胞レベルで秩序性を持って機能することにより発現している。本講義は正常状態におけるこれらの物質の性質とその存在様式およびそれらの生体での恒常性や動きと変化(代謝)を学ぶことにより、病態を正しく理解することを目的とする。

授業計画

第1回	第1章 基礎知識
第2回	第3章 糖質の構造と機能
第3回	第5章 脂質の構造と機能
第4回	第7章 タンパク質の構造と機能
第5回	第9章 ポルフィリン代謝と異物代謝
第6回	第10章 遺伝子と拡散
第7回	1時間 中間試験
第8回	第2章 代謝の基礎、酵素・補酵素
第9回	第4章 糖質の代謝
第10回	第6章 脂質代謝
第11回	第8章 タンパク質代謝
第12回	第11章 遺伝子の複製・修正・組み換え
第13回	第12章 転写
第14回	第13章 翻訳と翻訳後修飾
第15回	第14章 シグナル伝達
第16回	第15章 がん
第17回	1時間 試験

授業方法	講義
教科書	系統看護学講座 「生化学」 医学書院
評価方法	2回の筆記試験を合わせて評価する

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門基礎	栄養学	1単位30時間	2年	非常勤講師

授業のねらい

臨床栄養の基本的な知識と各段階のライフステージを学び自分の食生活を振りかえりつつ、栄養管理の概念と食事療法の基本を理解する。

授業計画

第1回	オリエンテーション、第1章 人間栄養学と看護、第10章 健康づくりと食生活
第2回	第2章 栄養素の種類とはたらき
第3回	第3章 食物の消化と栄養素の吸収・代謝
第4回	第3章 食物の消化と栄養素の吸収・代謝、第4章 エネルギー代謝
第5回	第5章 食事と食品
第6回	第6章 栄養ケア・マネジメント、第7章 栄養状態の評価・判定
第7回	第6章 栄養ケア・マネジメント、第7章 栄養状態の評価・判定
第8回	1時間 試験(第1～7章、第10章)
第9回	第8章 ライフステージと栄養
第10回	第8章 ライフステージと栄養
第11回	第9章 臨床栄養
第12回	第9章 臨床栄養
第13回	第9章 臨床栄養
第14回	まとめ
第15回	演習
第16回	1時間 試験(第8章、9章)

授業方法

講義・演習

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 「栄養学」 医学書院
 系統看護学講座 別巻 「栄養食事療法」 医学書院

評価方法

2回の筆記試験の合計で評価する